

むつ市議会だより

第230回定例会は、去る11月29日から12月20日までの22日間の日程で開催され、「むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」ほか36議案3報告が上程され、全ての議案が可決・同意・承認・報告されました。また、全議員による議員提出議案として「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」が上程され可決されました。

補正予算など37議案を可決

一般会計予算は、総額342億6731万6000円に

主な議案の説明

【議案第66号】むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

青森県人事委員会の県職員の給与に関する勧告に鑑み、市職員の給料月額並びに扶養手当および勤勉手当の支給割合を改定するためのもの

【議案第70号】むつ市農業委員会の委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律の規定に基づき、むつ市農業委員会の委員の定数を定めるためのもの

【議案第76号】むつ市下水道条例の一部を改正する条例

市内の各地区で異なる下水道使用料の額を段階的に改定し、むつ地区の額に統一するためのもの

【議案第78号】むつ市かまふせビレッジ条例を廃止する等の条例

平成29年3月31日をもってむつ市かまふせビレッジを廃止し、センターハウスをむつ市釜臥山スキー場の施設として管理するためのもの

【議案第87号から議案第90号まで】定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

大間町、東通村、風間浦村および佐井村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を加える等、定住自立圏形成協定の一部を変更するためのもの

【議案第91号】むつ市監査委員に選任する者につき同意を求めることについて
(新任) 齊藤秀人氏

(任期は平成28年12月15日から4年間)

【議案第92号】むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
(新任) 田中志昌氏

(任期は平成28年12月20日から4年間)

【議案第93号】むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
(再任) 宮浦雅子氏

(任期は平成29年1月16日から4年間)

【議案第94号】むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて
(再任) 村田和夫氏

(任期は平成28年12月19日から3年間)

【議案第95号】平成28年度むつ市一般会計補正予算

歳出については、各款にわたり職員の配置換えに伴う人件費の増減調整をしたほか、臨時職員管理費、情報ネットワーク強化対策事業、イルカと人との共生によるふれあいビーチinむつわん事業費、障害者自立支援給付費および障害児通所支援事業費、前年度の年金生活者等支援臨時福祉給付金および生活保護費国庫負担金の精算に伴う返還金、国民健康保険特別会計繰入金、むつ地区水産物供給基盤機能保全事業費、下水道事業特別会計繰入金、常備消防に係る下北地域広域行政事務組合負担金および

自主防災組織設立助成事業費、スポーツおよび文化芸術活動における児童生徒の目覚ましい活躍があった等による子ども夢育成基金事業に係る大会派遣補助金等、むつ総合病院透析センター建設事業に対する出資金を増額する一方、じん芥処理およびし尿処理に係る下北地域広域行政事務組合負担金を減額したものの

歳入については、国・県支出金には歳出との関連において補助見込額を、寄附金には教育費寄附金を、繰入金には子ども夢育成基金繰入金を、市債には事業との関連において借入見込額を計上するほか、補正財源を調整するため、財政調整基金を取崩したほか、むつ市ふれあい温泉川内外6施設の指定管理料について、債務負担行為を追加したものの

・補正額(増額補正) 5億1787万円

【議案第99号】むつ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の一部改正に伴い、介護のための休暇に関する制度の拡充等をするためのもの

むつ市議会のホームページ・
むつ市議会フェイスブックも
ご覧ください。

むつ市議会ホームページ



むつ市議会フェイスブック



【議案第66号】むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○質疑 給与改定による増額はどのくらいか。

▼答弁 給料、手当および共済費を合わせて概算で1700万円程度と試算している。

【議案第70号】むつ市農業委員会の委員の定数を定める条例

○質疑 任命制になるが、農業委員会は以前と比べどのような点が変わるのか。

▼答弁 農業委員はこれまでの活動内容とかわらないが、農業委員の選任に関しては、これまでの公職選挙法の準用による公選制を廃止し、市町村長が市町村議会の同意を得て任命する方法に改められ、新たに農地利用最適化推進委員を委嘱することとなる。

【議案第76号】むつ市下水道条例の一部を改正する条例

○質疑 大畑、川内および脇野沢地区の対象者の件数、負担増額について。

▼答弁 大畑地区の接続件数は569件、一般世帯における平均的な使用水量である月15立方メートルを使用した場合の消費税込みの現行使用料は、年額1万9440円で月額2000円程度、年額では2400円程度の増額、川内地区の接続件数は898件で、現行使用料は年額2万736円で月額1700円程度、年額では2000円程度の増額、脇野沢地区の接続件数は326件、現行使用料は2万4624円、月額700円程度、年額では800円程度の増額となり、全体的な影響額は平成27年度

と比較して平成29年度は580万円程度の増額となる試算をしている。

【議案第77号】むつ市漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

○質疑 市民への負担増額について。

▼答弁 農山漁村地域整備交付金の適用を受け、脇野沢九艘泊地区と寄浪・蛸田地区の2地区で整備したもので、接続件数は両地区で79件、一般世帯における平均的な使用水量である月15立方メートルを使用した場合の消費税込みの現行使用料は、年額2万4624円で月額700円程度、年額では800円程度増額となり、全体的な影響額は平成27年度と比較して平成29年度は5万5000円程度の増額となる試算をしている。

【議案第78号】むつ市かまふせビレッジ条例を廃止する等の条例

○質疑 条例が廃止された後のバンガロー、テニスコート、東屋、炊事場、展望所はどのように活用する予定なのか。

▼答弁 廃止後のバンガロー、東屋、炊事場については順次解体する予定のほか、テニスコートは駐車場として活用、展望所については釜臥山スキー場の附帯施設として活用していきたい。

【議案第81号】指定管理者の指定について（むつ運動公園外1施設の指定管理者を指定するためのもの）

○質疑 選定理由の中にホームページ開設やインターネットによる施設利用予約の推進とあるが、具体的にいつから

実施し、どのような内容なのか。

▼答弁 指定管理者のホームページにおいて、施設の利用料金やグレンデ状況等を発信しているが、今後はインターネット予約ができる体制を整備し利便性を向上させたいとしており、基本協定の締結に向けてどのような内容なのか時期等も併せて協議していきたい。

【議案第85号】青森県市町村総合事務組合規約の変更について

○質疑 青森県市町村税滞納整理機構へ加入するメリットは何か。

▼答弁 市税等の歳入確保は行財政運営の根幹に関わる重要な課題であり、財源対策の一環として徴収の強化にさらなる税收確保を図るものである。

【議案第95号】平成28年度むつ市一般会計補正予算

○質疑 社会資本整備総合交付金が約1億円減額になった理由について。

▼答弁 国土交通省所管の社会資本整備総合交付金の制度を活用し進めている事業で、歳入として見込んでいた

交付金1億3920万円に対し、11月の国の補正による追加配分を含め3765万9千円が交付金額として確定したことから、当初予算との差額1億154万1000円を減としたものである。

【議案第69号】むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○質疑 透析センターの建設事業の全体事業費はいくらか。また、事業費の全額がむつ市の負担となるのか。

▼答弁 当該事業の総事業費については、平成27年度から平成29年度の3か年で約9億9100万円が見込まれており、このうち、むつ市の負担は地方公営企業法の繰出基準等に基づき約6億1400万円を見込んでいる。

討論（反対討論）

以下の6議案に対し反対討論がありました。

○議案第69号 むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○議案第70号 むつ市農業委員会の委員の定数を定める条例

○議案第71号 むつ市農業委員会の委員候補者選考委員会条例

○議案第72号 むつ市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

○議案第76号 むつ市下水道条例の一部を改正する条例

○議案第77号 むつ市漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

議案名	議決結果	賛否	改革改新		公明・政友会		自民クラブ		市誠クラブ		創世むつ		会派に属しない議員														
			齊藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中野正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池健而	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修匡	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	横垣成年	目時睦男	川下八十美
◆議案第 69 号 むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	21:3	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議案第 70 号 むつ市農業委員会の委員の定数を定める条例	原案可決	21:2	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議案第 71 号 むつ市農業委員会の委員候補者選考委員会条例			○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議案第 72 号 むつ市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	原案可決	20:3	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議案第 76 号 むつ市下水道条例の一部を改正する条例			○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議案第 77 号 むつ市漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	原案可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全会一致で原案可決・同意・承認・報告となった議案

- ◆議案第 66 号 むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 67 号 むつ市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 68 号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 73 号 むつ市税条例等の一部を改正する条例
- ◆議案第 74 号 むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 75 号 むつ市住居表示審議会条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 78 号 むつ市かまふせビレッジ条例を廃止する等の条例
- ◆議案第 79 号 むつ市中心市街地活性化審議会条例を廃止する条例
- ◆議案第 80 号 指定管理者の指定について(むつ市下北自然の家の指定管理者を指定するためのもの)
- ◆議案第 81 号 指定管理者の指定について(むつ運動公園外 1 施設の指定管理者を指定するためのもの)
- ◆議案第 82 号 指定管理者の指定について(むつ市介護老人保健施設やげんの指定管理者を指定するためのもの)
- ◆議案第 83 号 指定管理者の指定について(むつ市マリンハウス協野沢の指定管理者を指定するためのもの)
- ◆議案第 84 号 指定管理者の指定について(むつ市ふれあい温泉川内外 3 施設の指定管理者を指定するためのもの) ※ 半田義秋議員は除斥
- ◆議案第 85 号 青森県市町村総合事務組合規約の変更について
- ◆議案第 86 号 市道路線の認定について
- ◆議案第 87 号 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(大間町との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を加える等、定住自立圏形成協定の一部を変更するためのもの)
- ◆議案第 88 号 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(東通村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を加える等、定住自立圏形成協定の一部を変更するためのもの)
- ◆議案第 89 号 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(風間浦村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を加える等、定住自立圏形成協定の一部を変更するためのもの)
- ◆議案第 90 号 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(佐井村との間において、定住自立圏の形成に関し必要な事項を加える等、定住自立圏形成協定の一部を変更するためのもの)
- ◆議案第 91 号 むつ市監査委員に選任する者につき同意を求めることについて
- ◆議案第 92 号 むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
- ◆議案第 93 号 むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
- ◆議案第 94 号 むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて
- ◆議案第 95 号 平成 28 年度むつ市一般会計補正予算
- ◆議案第 96 号 平成 28 年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算
- ◆議案第 97 号 平成 28 年度むつ市介護保険特別会計補正予算
- ◆議案第 98 号 平成 28 年度むつ市下水道事業特別会計補正予算
- ◆議案第 99 号 むつ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 100 号 むつ市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 101 号 むつ市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
- ◆報告第 30 号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- ◆報告第 31 号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- ◆報告第 32 号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成 28 年度むつ市一般会計補正予算)
- ◆議員提出議案第 3 号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

※議決日は、議会最終日の 12 月 20 日(東健而、富岡幸夫議員が欠席)(ただし、議案第 66 号から議案第 69 号までは開会日の 11 月 29 日(東健而議員が欠席)に議決、議案第 91 号から議案第 95 号および報告第 30 号から報告第 32 号までは 12 月 12 日(東健而、佐賀英生議員が欠席)に議決)

※○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決の際に不在の者、「退」は退席、「除」は除斥、議長(浅利竹二郎)は採決に加わらない

工藤祥子 議員



問 経済的理由で治療の中断が報道される中、国保一部負担金（医療費）の減免、徴収猶予制度の利用が1件だけだが、なぜ少ないのか。

答 災害や失業等により一時的に収入が減少した場合に利用できる制度である。

問 特別支援教育の体制は。

答 特別支援教育は共生社会形成の基礎となるもので、現在および将来の社会にとって重要。11月に策定した「むつ市教育大綱」でその充実を重点目標に掲げ支援していく。

問 高齢者世帯等への屋根の雪下ろし費用を青森市のように助成すべき。

答 屋根の雪下ろしは、個人の財産の維持管理という側面もあり行っていない。

鎌田ちよ子 議員



問 企業版ふるさと納税について。

答 むつ市は深刻な医師不足の状況にある。命と健康を守る医師を確保し、安心して生活できる環境を整える必要がある。課題解決に弘前大学と青森中央学院大学との3者で「むつサテライトキャンパス」を設置。これを活用した若者支援を一体的に展開するために事業をパッケージ化し「次世代を担うプラチナ人材育成プロジェクト」として国に申請し、県内第1号に認定された。国の支援を最大限活用し、地域に必要な人材は地域で育て、次代を担う人材を確保したい。

※上記のほかに、にぎわい創出「まちゼミ」について、保健福祉行政の質問がありました。

原田敏匡 議員



問 中小企業支援の基本理念や市からの受注機会増大などを明文化し、現行の「むつ市中小企業振興条例」を改正すべき。

答 現行条例は制定から40年と古く、社会状況の変化や法令整備に対応する必要があり、改正ではなく早ければ今年度中にも現行条例を廃止した上で、中小企業振興の基本理念や行政の役割などを明文化した新たな基本条例を制定したいと考えている。

問 災害による被災者支援業務の一本化、ワンストップサービスの実現を。

答 大規模災害時においては、被災者支援業務の窓口一本化や情報提供、被災者台帳を作成し、関係部署による情報共有を図るなどの対応に努める。

濱田栄子 議員



問 教育行政について、読書は知識を得るだけでなく、心を豊かにし、倫理観も育まれると思う。また、読書を重ねることは国語力のみならず、理科や科学、算数や数学の理解力、読解力も深めると考えられる。むつ市独自の読書マイレージ制度をつくり、市全体で大人も子どもと一緒に本を読む「読書のまちづくり」ができないか考えを問う。

答 小・中学校では、読書数、時間ともに全国平均より高くなっている。読書マイレージについては、例年読書週間に合わせ「読書スタンプラリー」を実施しているが、来年度からは夏休み期間中に小・中・高校生を対象とした新たな「スタンプラリー」を実施する。

佐賀英生 議員



問 むつ地区海老川町から仲町および大畑地区上野から水木沢の環状交差点化について。

答 信号機のない円形交差点では安全性、円滑性などが向上する一方で、歩行者の安全対策が難しく、積雪による見通し確保など課題もある。研究調査し慎重に判断する。

問 一次産業の現状への対応および各業界との協議、今後の対応について。

答 一次産業を取り巻く環境は課題も多くさまざまな問題を抱えている。国の支援制度を活用しニーズに応じて行くとともに、今後もお出かけ市長室や各種会合等においてさまざまな話を聴いて、施策に反映していきたい。

横垣成年 議員



問 個人のプライバシー権を侵害するマイナンバーについては廃止すべきという立場で質問する、マイナンバーカードで市民はどのようなメリットがあるのか。

答 身分証明書として利用でき、税や福祉等の様々な場面でカード1枚で手続きができる。

問 マイナンバーカードがなくても市の手続きは可能か。

答 市民の不便にならない対応に努める。

※上記のほか、マイナンバーカード取得は義務ではないこと、税務署はマイナンバーの記載がなくても受理することを紹介し、ジオパーク認定による経済効果、本庁舎、新体育館等について質問がありました。

「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」が可決されました

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たす役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸問題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

総務教育常任委員会

○12月12日付託議案審査

総務教育常任委員会に付託された議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、9議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第99号 むつ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

Q 育児休業および介護休暇の取得状況について。

A 育児休業については取得者が多いが、介護休暇については年に1、2名程度である。

【その他の活動】

○所管事務調査

・むつ市立奥内小学校の放射線防護対策について(現地調査)

産業建設常任委員会

○12月12日付託議案審査

産業建設常任委員会に付託された議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、12議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第70号 むつ市農業委員会の委員の定数を定める条例

Q これまでの農業委員は選挙区や農業団体および議会推薦を得て構成されていたが、新たな農業委員はどのように選任されるのか。

A これまで公選制の選挙区としてむつ地区を第1選挙区、川内、大畑、脇野沢地区を第2選挙区として22名、農業団体および

び議会推薦で各4名の合計30名で構成されていたが、これまでの公選制、議会推薦制等が廃止され、新たな農業委員は市町村長が農業者、農業者で組織する団体、その他関係者に対し候補者の推薦や自らの応募を求めるとともに、議会の同意を得て19名を任命することとなるが、その過半数の10名は認定農業者でなければならない。

・議案第71号 むつ市農業委員会の委員候補者選考委員会条例

Q 選考委員8名の内訳について。

A 農業等に関する識見を有する者が1名、農業関係団体が推薦する者が2名、地域の意見をより広く聴くため合併前の旧4地区からも人選することとしたほか、新たな農業委員の年齢、性別に偏りが生じないよう配慮しなければならぬことから、選考委員には女性委員を含めることとし、市長が必要と認める者を5名としている。

・議案第72号 むつ市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

Q 農地利用最適化推進委員の職務は、従来の農業委員の職務に含まれていなかったのか。

A 農業委員についてはこれまでの職務と変わりはないが、農地利用最適化推進委員は担当地域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行うこととなる。

・議案第76号 むつ市下水道条例の一部を改正する条例

Q 下水道使用料の統一が遅れた理由について。

A 平成21年および平成24年の2度にわたり審議会に諮問したが、水道料金の統一および消費税率の引き上げ等の理由により

これまで統一できなかった。

民生福祉常任委員会

○12月12日付託議案審査

民生福祉常任委員会に付託された議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、6議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第78号 むつ市がまふせびレッジ条例を廃止する等の条例

Q 廃止となるテニスコートおよびバンガローの利用件数について。

A 直近5年間の年間利用者数はテニスコートが約300人前後、バンガローが約400人前後で推移している。

・議案第81号 指定管理者の指定について(むつ運動公園外1施設の指定管理者を指定するためのもの)

Q むつ運動公園の一角にあるむつ運動公園交通広場を指定管理から外すのは効率的ではないと以前から指摘しているにもかかわらず、今回も指定管理の対象としない理由について。

A 交通広場は今年度から原則として土曜日、日曜日のみ利用としているため、指定管理者側から人員配置の調整が困難であるとの申し入れがあり、行政サービスとしての費用対効果を勘案した結果、指定管理の対象としない。

【その他の活動】

○所管事務調査

・市民課窓口業務について
・臨時福祉給付金および年金生活者等支援臨時福祉給付金制度について

議会報告会及び市民との意見交換会を開催しました

11月5日(土)および6日(日)の2日間にわたり、市内5会場において9月定例会での議案審議や平成27年度各会計決算について説明した後、各会場ごとに設けたテーマによって意見交換を行いました。主な意見は以下のとおりです。

Q 日曜議会の午後の傍聴者が少なかった理由は何か。

A 傍聴者数は議題によっても左右されるものと思う。今回は一般質問で行ったが、一般質問の順序は抽選で決められている。

Q 農業振興について、ブドウ・イチゴ・キウイなどの苗づくりを提案したい。また、植林のイベントを積極的に開催し、来場した子どもに苗をプレゼントしてはどうか。

A いい提案だと思うので、議会としても後押しや応援をしていきたいと思います。



総務教育常任委員会

平成28年10月18日～21日

岡山県瀬戸内市
兵庫朝来市
定住促進事業について

瀬戸内市では、地方創生先行型交付金を活用した「三世代同居等推進リフォーム補助制度」により、子どもを生み育てやすい環境づくりや高齢者の孤立防止に寄与するほか、定住人口の増加と地域内経済の活性化を図るため、三世帯世帯が新たに同居または近居する場合は、既存住宅のリフォーム工事を地元業者に依頼して行う場合に費用の2分の1（上限30万円）を助成している。なお、平成27年度は10件分を予算計上し、実績は2件となっている。



朝来市では、移住を希望している人に実際に住んでもらい、「ひと」や「まち」を体験し本格的な移住のための準備、検討期間とする体験住宅を2戸整備し1カ月単位での利用が可能である。また、空家バンク制度では、売却または賃貸できる空き家の所有者が登録し、市がホームページで希望する人に紹介する橋渡しを行なっている。過去3年間で30人が移住し、半数以上が定年退職された人であるが、移住体験を通して20代の夫婦も移住している。

産業建設常任委員会

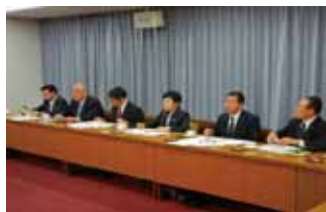
平成28年11月8日～11日

島根県浜田市
「山陰浜田港」水産物ブランド化について

漁獲量の減少に伴う水揚げ金額の低下、魚価の低迷を打開するため、地元で獲れる魚をブランド化し、付加価値向上を行うことで地元水産物の振興を図っており、科学的データの裏付けとして脂質検体機器の活用、生産者情報を記載したブランドシールや脂質含有量を明記した出荷証明書等の発行、出荷証明専用サイトを立ち上げている。

愛知県豊橋市
農業政策について

全国有数の農業生産地帯で路地野菜や施設園芸を中心にトマト・ミニトマト、スナックえんどうやわずら卵の豊橋市主要3品目の他、多種多様な農産物が栽培され、現在整備が進められている次世代施設園芸では、ミニトマトの定植時期をずらすことにより1年間通して出荷できる体制をとるほか、下水処理場から出される放流水等の熱エネルギーを活用して温室栽培における化石燃料使用量の約3割以上の削減を目指している。



民生福祉常任委員会

平成28年11月14日～17日

和歌山県紀の川市
紀の川市民体育館について

総合スポーツ公園の拠点として、高齢者から乳幼児までの全ての世代の市民利用に対応したユニバーサルデザインの施設である。メインアリーナは、全体空調とスポット型空調機を併設し、利用形態に応じた空調運用が可能であるほか、照明は公式競技からレクリエーションまで利用状況に応じた調光が可能である。また、舞台照明、音響設備等を設置しており各種イベントにも活用されているほか、災害時の避難生活を支える施設機能の維持を図っている。



愛知県碧南市
市民課窓口の日曜日開設について

社会生活の変化などから市民の価値観が多様化し、行政に対して決め細やかで効率的な住民サービスが求められるようになり、出張所業務の拡大や閉庁日である日曜日に利用頻度の高い窓口サービスを実施している。市民課が取り扱う住民票などのほか、税務課が取り扱う所得課税証明書などを発行している。今後はマイナンバーの運用に併せ、コンビニ交付サービスも開始することとしている。

第231回定例会は

2月22日開会予定です。

編集後記

昨年は熊本地震に始まり、夏の連続台風による災害、秋の鳥取地震と災害続きの一年でありました。むつ市での初雪が例年より早く、厳しい冬の訪れを感じさせましたし、この号が出るころは連日の積雪で市民生活が乱れているのではないかと心配するところです。昨年11月に開催された「第四回議会報告会および市民との意見交換会」では、市内五会場で参加した市民は少なかつたものの、市政に対しては熱く貴重なご意見を多く賜りました。

今後も、明るいまつ市の将来に向けて、市民のみならず共に歩み続ける議会を目指し、努力を重ねてまいります。

編集 広報広聴委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 中村正志 | 副委員長 | 池時英栄 |
| 委員 | 横垣勝弘 | 委員 | 光陸生子 |
| | 石田孝昭 | | 菊目佐濱 |
| | 斎藤 | | |

お問い合わせ先
むつ市議会事務局

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎0175-22-1111 内線 3613